

東急百貨店《母の日川柳》

選評 尾藤 一泉

【グランプリ】(1作品)

伝えたい母の母にもありがとう

宇佐美 さくら (女性・25)

【評】母の日は、自分の母へ日頃の苦勞を感謝するものですが、さらに思いを馳せれば、今、感謝しようとしている優しい母にも、やっぱり、その母を育んだやさしい母の存在があつてこそということに気づかされます。高齢化社会が問題視される中で、若いというマイナス面だけでなく、祖母の老いた現在の向こうにニンゲンとしての感謝を見つけた、愛に溢れる作品です。

【優秀賞】

母の絵に子は原色を使い切る

金子 かきくけ子 (男性・57)

【評】母という存在は、子供にとって紛れもなく原色そのもの。大人じみた半端な色彩など目にも入らなかつたのでしよう。また、今日の大人が振り返って自分の心に母の思い浮かべてみても、その愛は純粋な原色ばかりだつたでしょう。子供の絵に使われるクレヨンや絵具の減りから、母の性格そのものに迫る巧い作品です。

おかあさん ママママよりもっと温かい

奥長 ままごりら (女性・28)

【評】「もちろんママ」と呼んでいたって子供にとっては暖かい存在でも、ある拍子に「おかあさん」という和語を使ってみると、「ママ」と呼んでいた、やや客観的距離から、まったく隙間の無い親子の距離になるような気がします。「おかあさん」と「ママ」の単純な比較ではない、心の奥のほのほのとした気分ですね。

匙加減 味も亭主も母譲り

羽衣五月 (女性・40)

【評】母親譲りの手料理は、親から子へ、子から孫へ。その料理の匙加減も亭主を守り立てる「あげまん」の匙加減も母からの大きな財産…と取ると、母への感謝が増します。別に、母を「義母」という意味で採ると、亭主も「義母」から譲られたものであり、料理の匙加減も「頼い義母」譲りとなります。私は前者で頂きました。

【入選】

出来そうで出来ない母のたまご焼き	安岡 よしこ	(女性・29)
ネットより母の教えが役に立つ	井谷 さくらんぼ	(女性・54)
母の日も主役の母が忙しい	遠藤 リン	(女性・48)
母二人祝う嬉しさ 忙しさ	岡本 鯖ソナ	(女性・34)
パパは母 ぼくはママへのプレゼント	佐藤 ひっくり蛙	(男性・60)
プレゼント”悩みのタネ”が贈る花	中川 雑草魂	(男性・41)
着メロはジャニーズ系の母が好き	和泉 雅江	(女性・45)
母の日は母のレシビの五目飯	齊藤 ふじお	(男性・64)
地球にも子にも優しい母が好き	張 のんママ	(女性・36)

「母の日川柳」総評

二回目の「母の日川柳」。すっかり私も楽しんで読ませていただきました。昨年より句数も増えましたが、内容がずっとハイレベルになり、選をしていても胸が躍ります。受賞者を見ると、若い女性の健闘が目立ちます。今まで、川柳というと老人の嗜みのようでしたが、若いセンスで十七音を作ると、また違った時代の空気が川柳作品に吹き込まれるようです。

いずれの句も経験や自分の感じた事から句が創られています。これが単に「母の日」という既成概念を句にするというタイプの作品より、ずっとずっと新鮮に映っています。川柳は、わずか十七音の文芸ですが、ニンゲンをこんなにもリアルに描いてくれます。あなたの愛がたっぷり、十七音に結晶したのではないのでしょうか。